

平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

【基本事務事業名】四日市港の整備事業（101）

【評価年月日】平成12年11月7日

【主担当部課名】総合企画局政策調整課

【配入課名・課長名・電話】政策調整課 高橋陽一 059-224-2012

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

政策：交流基盤の整備（Ⅴ-3）

施策：港湾の整備（4）

総合計画の目標項目：四日市港コンテナ貨物取扱量、四日市港-12m以上バース数

波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策：新規成長産業の振興と基盤整備、地域振興プロジェクトの推進

2 基本事務事業を巡る環境変化（過去、現状、将来）

（過去～現状）

- ・霞ヶ浦地区南ふ頭の国際物流センターのオープンや富田山城線の無料化等により、特にコンテナ貨物の取扱量が増加している。
- ・事業実施にあたり、関係住民のコンセンサスを得ることが重要になってきている。

（現状～将来）

- ・周辺の高規格道路（第二名神、東海環状）整備の進捗、中部国際空港への海上アクセス拠点整備等により、ますます四日市港の機能が向上すると考えられる。
- ・環境変化は、今後ますますその度合いを強めていくと考えられることから、構想の妥当性を明確にすることが重要である。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図（何をどういう状態にしたいのか）

四日市港を「物流機能の充実、強化」、「産業構造の高度化支援」、「親水空間も含む総合港湾空間の形成」の機能を果たす港湾として整備する。

3-(2) 成果指標名・成果指標式（総合計画の目標項目には＊を付す）

指標名：四日市港の整備度

指標式： $A \times B$

A：貨物取扱達成率

取扱貨物実績 / ＊目標取扱貨物量（港湾計画）

B：施設整備進捗率

整備済施設 / ＊施設整備計画（港湾計画）

変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明（指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など）

四日市港の整備の意図は、港湾計画に基づき物流機能の充実、強化等を図るため、着実に整備を推進することであるため。

3-(4) 結果（施策における2010年度の目標）

港湾施設の充実、強化により、国内外と活発に交流し、人、モノの交流を安定的かつ効率的に行えるようになり、地域のみならず三重県あるいは中部圏の産業、経済が活性化されるとともに、臨海部の水と緑の資源を生かした空間形成が図られ、住民が多目的に集い、楽しみ、交流する多彩な空間の形成が進んでいる。

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度 (H11年度)における基本事務事業の結果評価

前年度に行った内容と成果

- ・霞ヶ浦地区に四日市港の港湾管理機能や港湾サービス機能を備えた四日市港ポートビルを建設した。
- ・楠地先埋立構想に関して、海面埋立による工業団地整備について、全国調査を行った。

前年度に残った課題

- ・四日市港港湾計画に基づき、霞ヶ浦地区北ふ頭岸壁等の整備を着実に推進すること。
- ・楠地先埋立構想に関して、昨年行った調査から、海面埋立による工業団地の分譲を実際に進めている適当な地域を選び、現地調査を含めベンチマーキングを行う。

4-(2) 本年度 (H12年度)における基本事務事業の見込み評価

本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

- ・霞ヶ浦地区北埠頭-14m パースの整備にかかる調査や霞 4 号幹線の環境影響調査等が実施される。
- ・楠地先埋立構想に関して、海面埋立による工業団地の分譲を実際に進めている地域のベンチマーキングを行い、採算性や環境問題について検証を行う。

本年度残ると思われる課題

- ・四日市港港湾計画に基づき、霞ヶ浦地区北ふ頭岸壁等の整備を着実に推進すること。
- ・景気が低迷する中での楠地先周辺や近隣の企業立地の現状と問題点の把握。

5 基本事務事業の改革方向

- ・四日市港港湾計画に基づき、霞ヶ浦地区北ふ頭岸壁等の整備を着実に推進すること。

6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標値		総合計画 目標数値	予算額等 (千円)	必要概算 コスト(千円)
	目 標	実 績		所要時間 (時間)	
前々年度 (H10年度)	0.200	0.169		1,467,826 600	1,470,334
前年度 (H11年度)	0.200	0.205		1,436,407 1,309	1,441,840
本年度 (H12年度)	0.281	-		1,350,755 1,308	1,356,236
本年度補正後 (H12年度)	0.281	-		+ (or ▲) + (or ▲)	+ (or ▲)
翌年度 (H13年度)	0.320	――		1,913,650 1,308	1,919,131
計画目標年次 (H22年度)		――	コンテナ取扱量 498.6 万 t -12m 以上パース数 9 パース	――	――

7 翌年度(H1 3年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM : ProjectPortfolioMatrix)

〈必要概算コスト： ☆5億円以上 ◎～1億円 ◇～5千万 △～1千万 ・1千万未満 *休止・廃止〉

基本事務事業の成果向上への貢献度合

直接的に貢献する

・楠地先埋立構想調査費→

☆四日市港管理組合負担金→

間接的に貢献する

貢献度合の考慮外
～活動基盤となる
事務事業など

即効性（2年以下）

中期的（3年～5年）

長期的（6年以上）

効果発現までの期間

※ 各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細

新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

[illegible]